LA DOLCE VITA

海とイタリアをこよなく愛し、ワイン、アート、マリン文化に深い造詣を持つ伊藤英一氏。
この新連載では、氏がこれまで体験してきた地中海のマリタイムの煌めきを中心に、海と食とボートに関わる彼らのライフスタイルを語る。

text & photo: Eiichi Ito

#06
北イタリア・ガルーダ湖周遊

ガルーダ湖でのボートレンタル

イタリア最大の湖ガルーダ湖は、北イタリアにありながら温暖な地中海性気候に恵まれているので、ヨーロッパで最も人気のあるリゾート地の一つとなっている。その気候のおかげで最上のオリーブやぶどうが育まれ、良質なオリーブオイルやワインを産する。毎年5、6月にもなると、北ヨーロッパから民族の大移動さながら人々が大挙してガルーダ湖周辺に押し寄せる。そんな状況を受けとめるべく、多くのグルメなリストランテ、ヴィラ、ホテル、アグリツーリズモ（体験型農家宿泊施設）、テルメ（温浴施設）、ワイナリー等が点在していて、大いにツアー客を満足させている。

ガルーダ湖滞在の楽しみの一つが、スモールボートをレンタルして桟橋付きのトラットリアやオステリアに繰り出すことだ。あるいは湖に点在する船溜りや小さな町々へボートで乗り付け、ショッピングしたりメルカート（市場）で食材を買ったりと、ボートでの楽しみは尽きない。

レンタルできるボートは小型RIB（リジッドインフレータブル・ボート）から名艇RIVAまで多種にわたる。RIVAのマホガニー艇がレンタル出来れば、セレブ気分に浸れるだろう。40馬力未満ならライセンス不要だし、レンタル料もリーズナブル。ライセンスがあれば（日本のライセンスでOK）RIVA 38 BravoやAZIMUT 38、MOCHI 56等もレンタルOKだが、いずれもデポジットが必要である。

ボートで行ける絶好のリストランテをご紹介。その一つが、湖中央右岸の「ロカンダ・サン・ヴィリオ（Locanda San Vigilio）」。ボートでしか行けない特別な処だ。宿泊もできるが、ここでの食事は至福の時を過ごすことができる。特産の丸々太ったスキャンピ（手長エビ）のグリルはプリプリとした食感で絶品。この地域で産する白ワイン、ルッガーナと共に味わえば香ばしさが倍加する。もう一ヶ所は「ヴェッキオ・ルガーナ（Vecchia Lugana）」だ。湖に面した桟橋にボートを横付けすると、注文しておいたグラスに注がれるフランチャコルタ“サテン"をトレーに乗せ、片手で器用に持ったソムリエが「プレーゴ」と差し出してくれる。なかなかこんなシチュエーションは日本では体験出来ないだろう。

ガルーダ湖周辺の見所

ガルーダ湖南端に突き出た半島にあるシルミオーネは、小さな路地が入り組んだチャーミングな町で、ジェラートを頬張りながらのショッピングには最適で、テルメ施設も充実している。半島の突先にはローマ時代の別荘跡もある歴史ある町である。

湖の北はオーストリアと国境を接するアルプス山麓の南ティロルと呼ばれる地方で、素晴らしい景観を誇っている。シャレー風のアグリツーリズモに滞在してスキーを楽しむことができる。

ガルーダ湖の右岸は、赤ワインで有名なバルドリーノやヴァルポリチェッラのブドウ畑が丘陵に広がっている。ぶどう収穫後、陰干しして作るアマローネ・デッラ・ヴァルポリチェッラは世界に誇るイタリア最高の赤ワインの一つだ。ガルーダ湖西隣のイゼーオ湖畔には、イタリア最高のスパークリングワインを産するフランチャコルタ地区もあるので、ワイン好きにはたまらない土地だ。

イゼーオ湖には、イタリアを代表する最高峰のモータークルーザーのRIVAやSARNICO、COLOMBOが本社工場を構えているから、イタリアンクルーザーをこよなく愛してやまない僕としては、聖地の様な場所でもある。RIVA本社工場からRIVA Tropicana 43に乗り込み、鏡のような湖面を35ノットオーバーで疾走した記憶が蘇る。

また、フランチャコルタに近いブレーシアは、クラシックカーの公道レース、ミッレミリアの出発地及び到着地で、レース前には多くのクラシックカーが集結してお祭り騒ぎとなる。偶然にも前夜祭に出くわした時には、カラフルなクラシックカーに興奮ひとしきりだった。

最後にもう一つ見逃せない町がヴェローナだ。ロメオとジュリエットの町といえば「ああ、あの町……」と誰もが知る町だ。ヴェローナで開催される年に一度のヨーロッパ最大のワインフェスタは、ワイン好きな人にとって大きな魅力となるだろう。夏にはローマ遺跡で開催される野外オペラも必見で、特に大スペクタクルの「アイーダ」は、本物の象も登場する。

いずれにしろ、この地域はミラノから車でも列車でも1時間半程で行ける魅力満載な処なので、ボート、ワイン、スキー、オペラ好きな人たちにぜひ知って欲しいと思っている。***P.B.***

湖のあちこちにある船溜り前には、美味い料理を食べさせる食事処が。湖に張り出したトラットリアも数多い。

トラットリアの前でスカンピ漁をするブルーの船体の小型漁船。獲ったスカンピを分けて貰い、その場で殻を剥いて刺身で食す。これが最高の食べ方。下左写真はシルミオーネ入口の城門、許可を受けた車しか入れない。ワイナリーに空ビンを持っていくと、ガソリンスタンドのノズルの様なもので樽から注いでくれる。これが安くて旨い。

Profile

伊藤英一

事業家。ボート歴は10代から既に半世紀以上。欧米の多くのリゾート地を訪れ、その土地の食やワイン、アート、音楽等に触れることを至上の喜びとしている。RIVAとRIBの熱烈な愛好家。